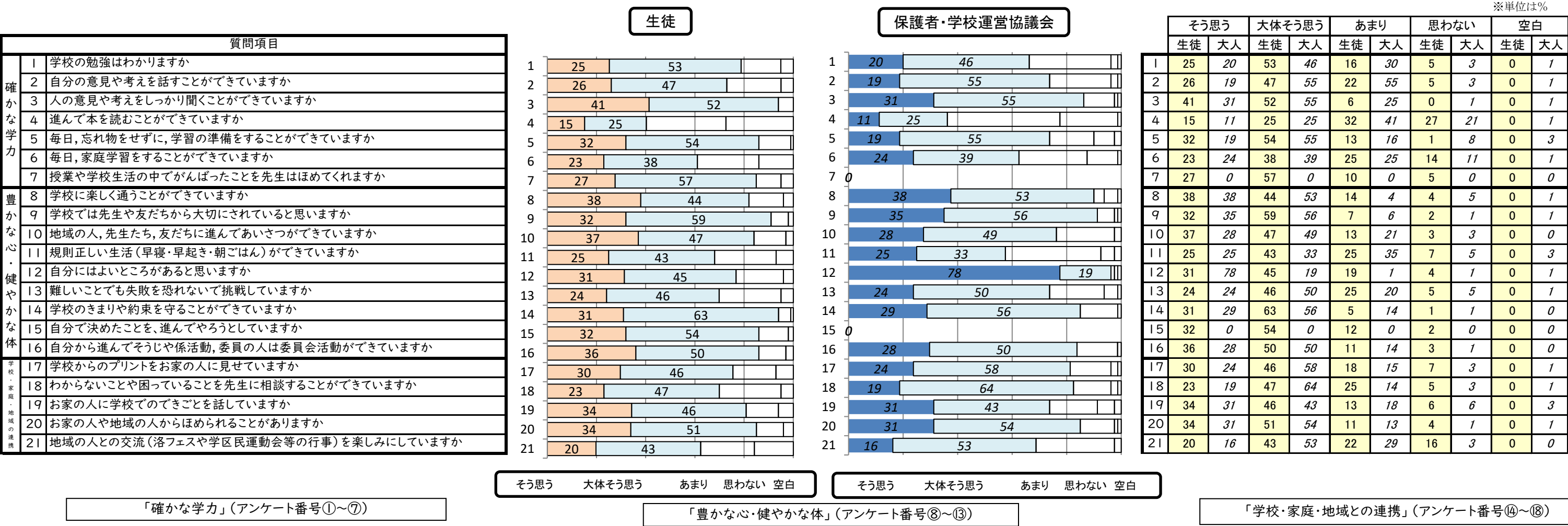


○目指す子ども像（ブロック共通） 夢の実現に向けて共に楽しく学び、たくましく伸びていく子の育成
重点目標（児童生徒の共通する課題より）（1）コミュニケーション能力を育成するための“言語活動”を充実する。～つながる・深める・伝え合う～ （2）児童生徒が主体的に活躍できる場面を設定し、自己肯定感や自己有用感を高める。
○洛西中学校めざす生徒像 ①「学ぶ楽しさ」と「わかる喜び」を実感し、夢や希望に向けて主体的に学習に取り組む生徒〈知〉 ②自分や仲間の良さや違いを認め尊重し、支え高め合える生徒〈徳〉
③ 命を大切にし、健康で安全な生活を心がけ、明るくいいきと生活できる生徒〈体〉



今回のアンケート結果から見えてきたことと、これから意識的に取り組んでいくことを以下に記載します。

1. 基礎的・基本的な知識・技能の定着
アンケート1「学校の勉強はわかりますか」については、「そう思う」が25%、「だいたいそう思う」が53%で、78%の生徒が「概ねわかる」と回答しています。この結果は、前期と同じポイントでした。授業において、既習の学習内容との関連付けを意図的に繰り返し行い、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図っていきます。また、思考・判断したことを表現し伝え合うことにより、主体的に学ぶ意欲を高め、粘り強く学びに向き合う力を育成できるよう授業改善に取り組んでいきます。

2. 思考力・判断力・表現力の向上
アンケート2「自分の意見や考えを話すことができていますか」については、「そう思う」「だいたいそう思う」の合計が73%で、前期より8ポイント増加し、昨年度の同時期より10ポイント増加しています。思考力・判断力・表現力が確実に伸びてきており、今後も継続して資料等を読んで分析し、自分の考えをまとめ書くことで論理的な思考を高め、対話的な活動を通して自分の考えを話すことを習慣化できるように、日頃から取り組んでいきたいと思います。
アンケート3「人の意見や考えをしっかりと聞くことができていますか」については、「そう思う」が41%、「だいたいそう思う」が52%で、93%の生徒が「概ね聞くことができています」と回答しています。思考力や判断力の土台となる「聞く」ことについては、継続してできており安定しています。
アンケート4「進んで本を読むことができていますか」については、「そう思う」「だいたいそう思う」の合計が40%で、前期より5ポイント増加しましたが、「読む」ことは思考力を豊かにすることにつながる中で、教科や特別活動の中で改善を図り、読むことへの興味・関心を高めたいと思います。

3. 家庭学習の習慣化
アンケート6「毎日、家庭学習をすることができていますか」については、「そう思う」が23%、「だいたいそう思う」が38%で、61%の生徒が「概ね家庭学習に取り組んでいる」と回答しています。前期より8ポイント増加し、昨年度の同時期より6ポイント増加しました。自学自習の大切さを意識することが浸透してきたので、今後は端末を持ち帰り、ミライシードのドリルパークなど自分に合った家庭学習の課題を設定し、意家庭学習の習慣化を図っていきます。自分の夢や目標を達成するためにも、家庭学習の習慣化に繋がれるように、生徒への取り組みを工夫していきます。

今回のアンケート結果から見えてきたことと、これから意識的に取り組んでいくことを以下に記載します。

1. 自己肯定感や自己有用感の育成
アンケート8「学校に楽しく通うことができていますか」については、「そう思う」が38%、「だいたいそう思う」が44%で、82%の生徒が「概ね楽しく登校できている」と回答しています。前期より「そう思う」が2ポイント増加し、学校祭体育の部や文化の部等、生徒たちが楽しみにしている取り組みが展開できたと思えます。その中で互いの活躍を認め助け合ったりするなどから、自己肯定感や自己有用感を伸ばすことができました。今後も常に生徒に寄り添いながら仲間づくりを推進し、誰もが居心地の良い学校を目指して適切な支援を行っていきます。
アンケート9「学校では先生や友だちから大切にされていると思いますか」については、「そう思う」が32%、「だいたいそう思う」が59%で、91%の生徒が「概ねそう思う」と回答しており、前期よりも6ポイント増加しています。アンケート12「自分にはよいところがあると思いますか」については、「そう思う」が31%、「だいたいそう思う」が45%で、合計は76%となり、前期より4ポイントの増加と昨年度の同時期より9ポイント増加しました。着実に生徒の自己肯定感や自己有用感は高まってきているので、より一層生徒が主体的に活躍できる場面を意図的・計画的につくり、生徒会活動を中心とした生徒から提案していく場面を増やすことにより、さらに自信をつけさせていきたいと思います。
アンケート15「自分で決めたことを、進んでやろうとしていますか」については「そう思う」が32%、「だいたいそう思う」が54%で、86%の生徒が「概ねそう思う」と回答しています。前期より「概ねそう思う」が4ポイント増加し、自ら挑戦したことが周りから認められて、成果を出せたことが自信へ繋がったと思います。

2. 基本的生活習慣の確立
アンケート11「規則正しい生活ができていますか」については、「そう思う」が25%、「だいたいそう思う」が43%で、68%の生徒が「概ね規則正しくできている」と回答しています。しかし32%の生徒が、規則正しい生活のリズムが整っていないと思われるので、成長著しい中学生期に、バランスの良い食事を定まった時間にとることが大切であることを保健だよりなどを活用して、生徒・保護者に伝え啓発を行っていきます。脳を活性化させ学習効果を高めるためにも、早寝・早起きを励行し、睡眠時間を確保できるように働きかけていきます。

今回のアンケート結果から見えてきたことと、これから意識的に取り組んでいくことを以下に記載します。

1. 家庭・地域との連携
アンケート17「学校からのプリントをお家の人に見せていますか」については、「そう思う」が30%、「だいたいそう思う」が46%で、76%の生徒が概ね学校からのプリントを見せています。残り24%の生徒もきちんと見せられるように働きかけを継続していきます。また、スクリレや学校ホームページも、適宜、有効に活用していきます。
アンケート19「お家の人に学校でのできごとを話していますか」については、昨年度の同時期より2ポイント増加し、80%の生徒が「概ね話している」、アンケート20「お家の人や地域の人からほめられることがありますか」については、昨年度の同時期より7ポイント増加し、85%の生徒が、「概ねほめられることがある」と回答しています。親子のコミュニケーションは子どもたちの活力になり、自主的な子どもの判断に基づく行動があった時には、小さなことでもほめることが、自尊心感を高めることにつながります。大人が子どもたちをきめ細かく見守ることを通して、生徒と家庭・地域・学校の大人とのつながりが強くなっていきます。より確かな人間関係にすることにより、生徒の健やかな成長に結びつけていきたいと考えています。
アンケート21「地域の人との交流（洛フェスや学区民運動会等の行事）を楽しみにしていますか」については、「そう思う」が20%、「だいたいそう思う」が43%でした。今後も地域の人たちとのふれ合いの場である地域行事を大切に、地域行事に参加できるようになることを通して、地域社会とのつながりを強くしていきたいと思います。その中で周囲の大人への感謝の気持ちを育ていき、地域に貢献できる人材を育てることにつながってきたいと思います。

2. あいさつの習慣化
アンケート10「地域の人、先生たち、友だちに進んであいさつができていますか」については、84%の生徒が「概ねしている」と回答しており、前期よりも2ポイント増加しています。今後、生徒会活動においても、全校での挨拶の取組を生徒が主体となって取り組んでいきます。